

調査報告書

平成 29 年度
需要動向調査
(福井県今立郡池田町)

平成 30 年 1 月 31 日

1. 調査概略

(1) 調査名 :平成 29 年度 需要動向調査

(2) 調査時期 :平成 29 年 11 月

(3) 対象者 :“食の文化祭”来場者に対するヒアリング調査
(池田町内在住者は含まない)

(4) アンケート項目

- ① アンケートに答えた方々の属性(観光客の市町村、性別、年代、人数等)
- ② 池田町への来訪目的
- ③ 関心、興味のある池田町の食べ物・商品製品・
- ④ 観光施設等について不便に感じる事・新設や改善要望
- ⑤ 池田町にまた来たいと思うか？住んでみたいと思うか？

(5) 目的

:池田町商工会として立案した経営発達支援計画の事業1(需要動向調査に関する事【指針③】)に基づき、池田町外からの訪問者や観光客、移住者を小規模事業者や起業者・創業者の主要な顧客ターゲット、利害関係者として位置付けているため、このターゲット層の需要動向を調査するものである。調査を通じて得られた情報を、小規模事業者や起業者・創業者に提供することで、そのニーズや情報を活用した新サービスや新商品を創出することを目的とする。

(6) 調査人数 :150 人

(7) 調査結果 :「4. 集計結果詳細」のとおりである。

2. 結果概要

(1) 第一部 ～全体像～

① アンケートに答えた方々の属性(観光客の市町村、性別、年代、人数等)

まず問1①(どこから池田町に来たのか?)については、福井県内外で大別すると、福井県内からの観光客が 126 人(85.6%)、県外から 21 人(14.4%)と大多数が福井県内からの来訪であった。(前提として、池田町内在住者はアンケート回答者には含まれていない。)更に福井県内の市町別で分析すると、隣接市町(福井市、越前市、鯖江市、大野市、南越前町)の 5 市町で 97 人(77.8%) (福井県内からの 126 人を 100%として計算)を占めている。更に隣接市町を観光客順でみると、福井市 46 人(36.5%)、越前市 27 人(21.4%)、鯖江市 21 人(16.7%)、大野市 3 人(2.4%)となっている。

県外からの観光客の 21 人のうち、隣接県である石川県から 7 人(33.3%: 県外からの 21 人を 100%として計算)、岐阜県から 5 人(23.8%)、京都府から 5 人(23.8%)、滋賀県から 1 人(4.8%)と 85.8%を占めている。残りは東京都から 2 人(9.5%)、愛知県から 1 人(4.8%)となっている。

性別は、男性 53 人(39.8%)、女性 80 人(60.2%)となっている。

年齢は、運転免許を持っていない割合が多いと思われる 20 歳未満の割合が 3.4%と非常に低いが、20 歳代は 22.6%という割合であった。30 歳代から 60 歳代までは大きな差異が無く、ほぼ同数程度の来訪者数であった。70 歳代以上の割合は 11.0%と相対的に低かった。

(何人で来たか?)の質問に対しては、「2人」の割合が 38.0%と一番高く、次いで「3人」が 23.3%となっている。4人が 12.7%、1人が 11.3%、5人が 5.3%と続く。

(誰と来たか?)の質問に対しては、親子の割合が 36.1%、夫婦が 30.6%、友人が 25.0%と続き、カップル、団体は少なく、各々 6.5%、1.9%となっている。

(池田町に何か縁があるか?)との問いには、「特に無し」が 57.1%と過半数を占めている。「友人がいる」が 25.2%、「生まれ育った」が 10.9%、「親、先祖が住んでいた」「親戚がいる」が 4.8%、「親が住んでいる」が 2.7%と続く。

② 池田町への来訪目的

(池田町に何を目的に来たか?)との質問には、「食事」が 17.5%、「遊び」が 15.0%、「買い物」「体験」「イベント」が同数(率)の 11.2%と続く。「観光」が 10.1%、「気分をリフレッシュする為」が 9.1%、「癒しを求めて」が 8.4%、「温泉」が 4.2%、「親戚、友人宅」が 2.1%であった。池田町への来訪目的も“モノからコト消費へ”の時代の流れと関連性があると考えられる。

③ 関心、興味のある池田町の食べ物・商品製品

(池田町の食べ物では何に関心、興味があるか?)という質問に対して、最も多かった回答は、全体の 24.7%を占め、83 名が回答した「蕎麦」だった。以下、お米、山菜、餅と続くことから、今回調査時の観光客は、池田町の農業に最適な水・気候等の環境を活かして収穫される地元食材を求めていることが推測される。

また、(池田町の商品・製品では、何に関心、興味があるか?)という質問に対しては、圧倒的な票数を集め「木工製品」(38.3%)がトップ、そして「薪ストーブ」(22.2%)「池田杉材住宅」(16.0%)と続いた。おそらく「食の文化祭」に出店していた「手作り家具工房かな」や「おもちゃハウス子どもの木」等が観光客の目を引き、手作り体験等を通じて直接良さを感じられた点がアンケート結果に繋がったと想定される。

一方で、自由記述回答において「アピール方法をもっと考えると良い。特産品など知らない。木工品などもっと宣伝したらどうか。」と、70 歳台の福井市からの来場者が回答する等、池田町から町外へのプロモーションが不足していることも推測できる。

④ 観光施設等について不便に感じること・新設や改善要望

(池田町に来て、不便に感じることや、施設に問題はるか?)という質問に対して、「飲食店情報」が 29.3%、「交通経路情報」が 28.6%で、2 件合計 57.9%となり全体の過半数を占める結果となった。“食の文化祭”に来場する上で、基本的な情報が不足していることとなる。記述回答では、「スマホで場所(地図)を見つけられない」「イベントバナーが見つけにくい。今日の食文(原文ママ。“食の文化祭”の略称と考えられる)の買い物の場所がわからない。役場のネットが見にくい。地図が見にくい。何を売っているかわかるようになっていなかった。」等の具体的な意見も寄せられた。

また、(池田町にもっとあったら便利だなと思う、観光施設等はあるか?)に対しては、「カフェ」が 34.0%、「道の駅」が 30.3%と続いた。食の文化祭で、実際にカフェも出店していたものの、来場者のカフェに対するニーズを充分には満たせていなかった可能性が考えられる。

(池田町にもっとあったら良いなと思う、地元食材を使った食べ物はあるか?)に対しては、「田舎料理」が 25.8%、「スイーツ」が 18.9%と続く結果となった。

⑤ 池田町にまた来たいと思うか?住んでみたいと思うか?

(池田町にまた来たいと思うか?)の質問に対して、全体の 92.6%が「また来たい」と回答し、池田町および“食の文化祭”に魅力を感じたことがわかる。

また、(池田町に住んでみたいと思うか?)に対しては、「住んでみたい」が 24.3%という結果であり、「また来たい」92.6%とは、大きな差が開いた。一方で、「分からない」という回答が 49.3%と約半数を占めることから、今回は“食の文化祭”来場者へのアンケート調査であったため、移住に関して、そこまで深く考えている人は多くなかったと想定される。

(2) 第二部 ～地域別・年代別・詳細項目別分析～

① 地域別分析

池田町は、高速道路・高速道路計画が無いこと等を含む“交通アクセスの良くない地域”であり、下記の地図にあるように福井市、大野市からアクセスする国道 475 号線、鯖江市、越前市からアクセスする 417 号線が主要な流入経路であると考えられる。第一部の分析にもあるように、観光客の割合が多い隣接市町の 5 市町(福井市、越前市、鯖江市、大野市、南越前町)からでも、自動車での所要時間が 1 時間程度掛かる。また、県外からの観光客で一番多い石川県からは、北陸自動車道、中部縦貫道を利用し、勝山市、大野市から国道 476 号線からの流入若しくは北陸自動車道の鯖江インターから国道 417 号線からの流入と考えられる。その他岐阜県、滋賀県、京都府、愛知県からは北陸自動車道経由で来訪したと考えられる。

また第一部④で不便・課題に感じることの中で「交通経路情報」についての課題の回答が多く寄せられたが、福井県内、県外及び隣接市町(5 市町ごと)、隣接市町外で検証したが大きな差異は無く、特徴的な結果は得られなかった。

そのような中で、現在、2022 年度末の北陸新幹線の敦賀延伸に合わせ工事中の冠山トンネルの開通により、岐阜県を含む中京圏からの来訪者流入が増える事も予想され、また平成 28 年福井県観光客入込数(推計)(調査 福井県観光営業部観光振興課)によると、池田町への観光客は 242,000 人と絶対数は未だ少ないものの、対前年比 186.2%と福井県内 17 市町中トップの伸び率であり、交通インフラ等の改善が池田町の“交通アクセスの良くない地域”という状況を解消し、池田町の観光業がさらに活性化されると考えられる。

池田町へのアクセス 実線 現在、開通の道路、破線 工事中の道路(冠山トンネル)



※福井県外からの観光客は、流入経路が不明確であり、除外した。

② 年代別分析

各年代の特徴をおおまかに捉えるべく、各質問で年代ごとの最多回答選択肢を列挙した。「20-30 歳代」と「50-70 歳代」の 2 つに大分すると、次のような特徴を考察することができる。20-30 歳代は、「3 人親子」で「遊び」目的、「交通経路情報」に不便さを感じ、「カフェ」「パン・スイーツ」を好む。一方、50-70 歳代観光客は、「夫婦 2 人」で「イベント」目的、「飲食店情報」に不便さを感じ、「田舎料理」を好む。

つまり、年代ごとに、来場人数・同伴者・不便に感じる観光施設・希望する地元食材を使った食べ物等の項目で嗜好性に相違があり、今後、商品開発・マーケティングを考える上で、重要なヒントとなることがわかる。

③ クロス分析

(a) 不便・課題とを感じる点の分析

「交通経路情報」の課題は、観光客の属性(どこから来たか?)によって回答の差異が出るのではと検証したが、福井県内の観光客 28.6%、福井県外 33.3%と 4.7 ポイントの差があるものの、大きな差異は無いと考えられる。また、福井県内(池田町と隣接市町)での差異分析について、池田町への流入経路に相違がある 3 グループ(福井市、越前市と鯖江市、大野市)間で大きな差異は見られなかった。

(b) 食べ物分析

問2-①(池田町の食べ物では何に関心、興味があるか?)という設問において圧倒的な最多回答数であった「蕎麦」について男女別に分析した。結果は、「蕎麦」と回答した 74 名のうち男性は 47.3%(35 名)、女性は 52.7%(39 名)と女性が若干多いものの性別で大差はないと言える。つまり、蕎麦は、男女・全年代共通で魅力のある食べ物ということがわかった。

また、問2-⑤(池田町にもっとあったら良いと思う、地元食材を使った食べ物)への回答で、20-30 代が「スイーツ」と最多回答していることから、「食べ物」の中で「スイーツ」として食されることが想定され、かつ、女性回答数が男性よりも相対的に多かった「餅」「きびだんご」に絞って分析した。結果は、同じ和菓子分類であると想定される中、「きびだんご」は圧倒的に 20 歳代女性の支持を集め、「餅」は 50-70 歳代と分かれるものとなった。これは、新商品開発のヒントになると考えられる。

(c) 観光施設分析

問2-④(池田町にもっとあったら便利だと思う、観光施設等はあるか?)に対する回答について、特徴的な結果であった「道の駅」「カフェ」について、男女別のクロス分析を行った。当該設問に対する男女別の回答数小計は、男性が 60 名、女性が 105 名と、女性が圧倒的に多い。その中で、女性回答数は「カフェ」が 36 名、「道の駅」33 名と続く。また、年代別に分析すると「カフェ」は 20-30 歳代、「道の駅」は 40-70 歳代と分かれる結果となった。つまり、20-30 歳代女性向けのカフェ、40-70 歳代女性向けの道の駅が、注力すべき観光施設と言えることになる。

4. 集計結果詳細

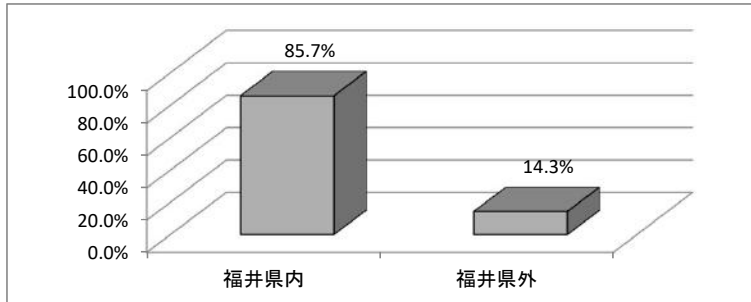
(1) 第一部 ～全体像～

問1 あなたのことにについて伺います。

①-1 どこに住んでいるか？(福井県内外)

有効回答数149人に対し、福井県内から126人(84.0%)、県外から23人(15.3%)との結果となっている。

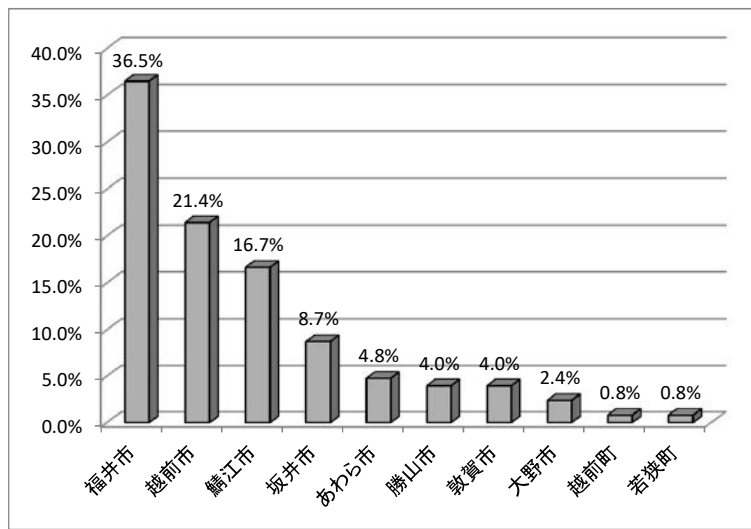
	人数	構成比
福井県内	126	85.7%
福井県外	21	14.3%
無回答	3	-
合計	150	100.0%



①-2 福井県内の内訳

隣接市町である福井市、越前市、鯖江市、大野市、南越前町で77.8%を占めている。坂井市、あわら市(合計)13.5%を占めているのが特徴的である。

選択項目	人数	構成比
福井市	46	36.5%
越前市	27	21.4%
鯖江市	21	16.7%
坂井市	11	8.7%
あわら市	6	4.8%
勝山市	5	4.0%
敦賀市	5	4.0%
大野市	3	2.4%
越前町	1	0.8%
若狭町	1	0.8%
小浜市	0	0.0%
南越前町	0	0.0%
永平寺町	0	0.0%
美浜町	0	0.0%
おおい町	0	0.0%
高浜町	0	0.0%
県内計	126	100.0%

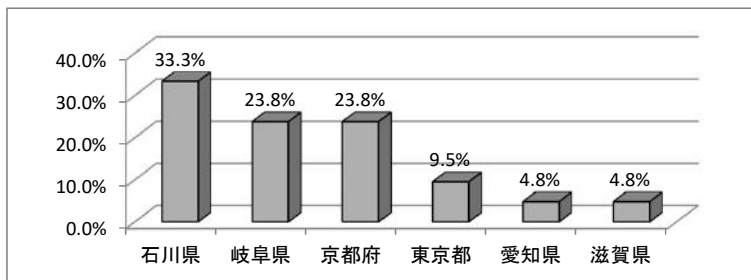


※1人以上の回答市町のみグラフ化

①-3 県外

県外からの観光客は隣接県である、石川県、岐阜県、京都府、滋賀県で85.8%を占めている。特に石川県からの割合が約1/3となっている。

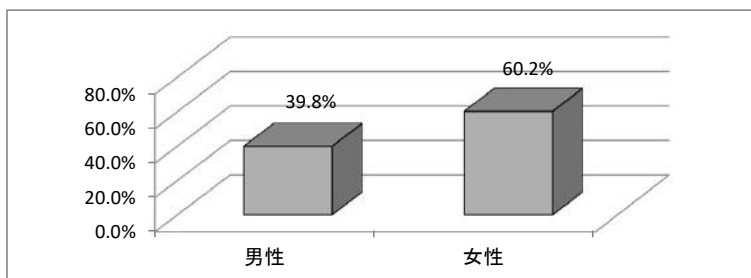
項目	人数	構成比
石川県	7	33.3%
岐阜県	5	23.8%
京都府	5	23.8%
東京都	2	9.5%
愛知県	1	4.8%
滋賀県	1	4.8%
合計	21	100.0%



②-1 性別

男女比は有効回答数133人中、男性が53人(39.8%)、女性が80人(60.2%)の結果となっている。

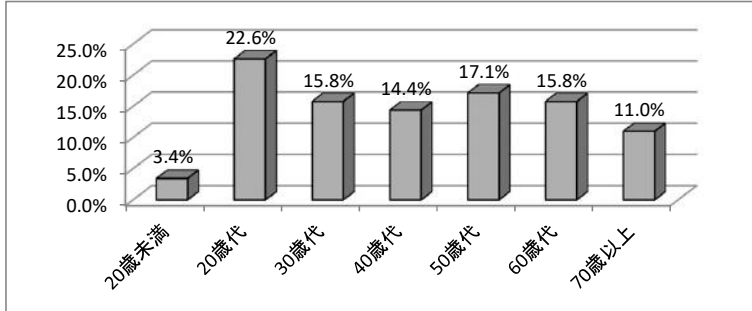
選択項目	人数	構成比
男性	53	39.8%
女性	80	60.2%
無回答	17	-
合計	150	100.0%



②-2 年代

20歳未満は3.4%と低いが、20歳代の22.6%の割合は相対的に高いと考えられる。
30歳代から60歳代までは大きな差異は無い。70歳代以上の割合は11.0%と相対的に低い結果となっている。

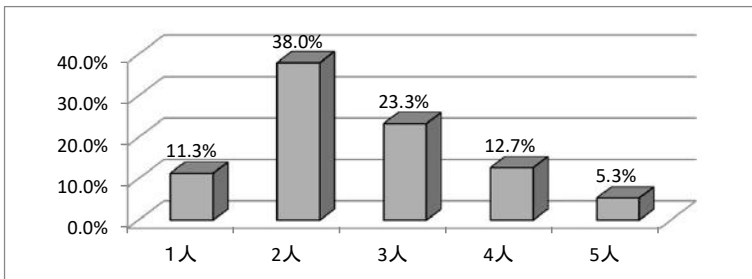
選択項目	人数	構成比
20歳未満	5	3.4%
20歳代	33	22.6%
30歳代	23	15.8%
40歳代	21	14.4%
50歳代	25	17.1%
60歳代	23	15.8%
70歳以上	16	11.0%
無回答	4	-
合計	150	100.0%



③-1-1 何人で来たか？

2人の割合が38.0%と一番高く、次いで3人が23.3%となっている。4人が12.7%、1人が11.3%、5人が5.3%と続く。

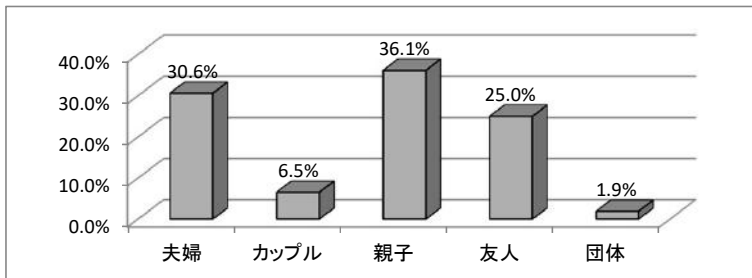
選択項目	人数	構成比
1人	17	11.3%
2人	57	38.0%
3人	35	23.3%
4人	19	12.7%
5人	8	5.3%
無回答	14	-
合計	150	100.0%



③-1-2 誰と来たか？

親子の割合が36.1%、次いで夫婦が30.6%、友人が25.0%と続く。カップル、団体は少なく、各々6.5%、1.9%となっている。

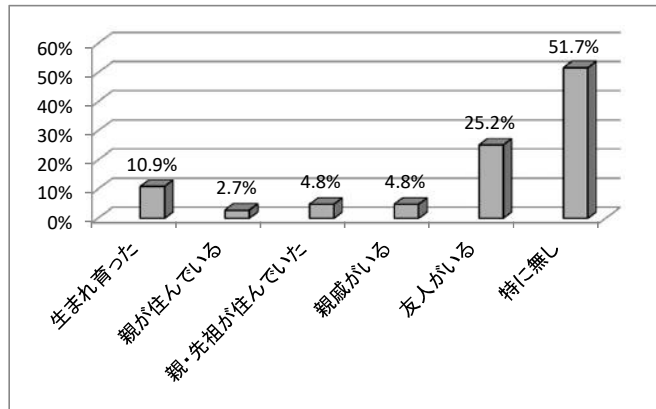
選択項目	人数	構成比
夫婦	33	30.6%
カップル	7	6.5%
親子	39	36.1%
友人	27	25.0%
団体	2	1.9%
無回答	42	-
合計	150	100.0%



④池田町に何か縁があるか？

「特に無し」が51.7%と半数を占めている。次いで「友人がいる」が25.2%、「生まれ育った」が10.9%、「親、先祖が住んでいた」「親戚がいる」が4.8%、「親が住んでいる」が2.7%と続く。

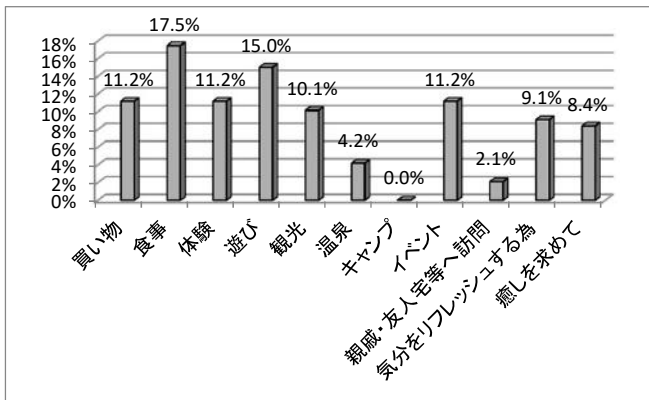
選択項目	人数	構成比
生まれ育った	16	10.9%
親が住んでいる	4	2.7%
親・先祖が住んでいた	7	4.8%
親戚がいる	7	4.8%
友人がいる	37	25.2%
特に無し	76	51.7%
無回答	3	-
合計	150	100.0%



⑤池田町に何を目的に来たか？3つまで選べ。

「食事」が17.5%、次いで「遊び」が15.0%、「買い物」「体験」「イベント」が同数(率)の11.2%と続く。「観光」が10.1%、「気分をリフレッシュする為」が9.1%、「癒しを求めて」が8.4%、「温泉」が4.2%、「親戚・友人宅」が2.1%であった。池田町への来訪目的も「モノ」から「コト」消費に移り変わってきていると考えられる。

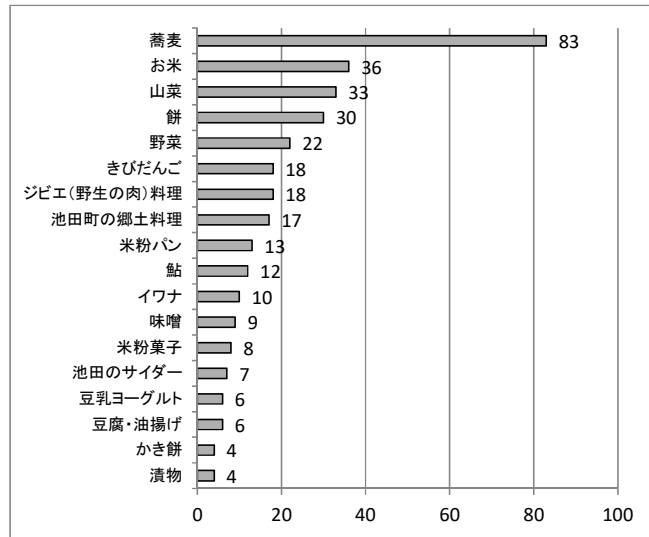
選択項目	回答数	構成比
買い物	32	11.2%
食事	50	17.5%
体験	32	11.2%
遊び	43	15.0%
観光	29	10.1%
温泉	12	4.2%
キャンプ	0	0.0%
イベント	32	11.2%
親戚・友人宅等へ訪問	6	2.1%
気分をリフレッシュする為	26	9.1%
癒しを求めて	24	8.4%
総回答数	286	100.0%



問2-① 池田町の食べ物では何に関心、興味があるか？3つまで選べ。

最も多かった回答は、全体の24.7%を占め、83名が回答した「蕎麦」だった。以下、お米、山菜、餅と続くことから、観光客は、池田町の自然を活かして収穫される自然食材を求めていることが推測される。

選択肢	回答数	比率
蕎麦	83	24.7%
お米	36	10.7%
山菜	33	9.8%
餅	30	8.9%
野菜	22	6.5%
きびだんご	18	5.4%
ジビエ(野生の肉)料理	18	5.4%
池田町の郷土料理	17	5.1%
米粉パン	13	3.9%
鮎	12	3.6%
イワナ	10	3.0%
味噌	9	2.7%
米粉菓子	8	2.4%
池田のサイダー	7	2.1%
豆乳ヨーグルト	6	1.8%
豆腐・油揚げ	6	1.8%
かき餅	4	1.2%
漬物	4	1.2%
合計(無回答除く)	336	100.0%
合計	450	-

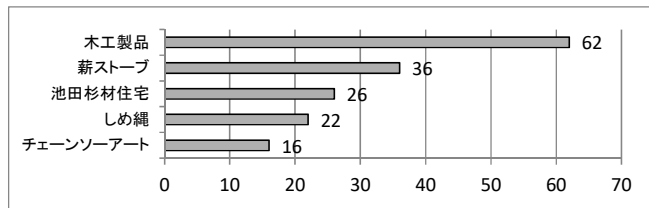


記述回答：牛肉、全体、山ウニ

問2-② 池田町の商品・製品では、何に関心、興味があるか？3つまで選べ。

圧倒的な票数を集めたトップが「木工製品」、そして「薪ストーブ」「池田杉材住宅」と続いた。おそらく「手作り家具工房かな」や「おもちゃハウス子どもの木」等が目を引き、手作り体験等を通じて肌で良さを感じられた点が結果に繋がったと想定される。

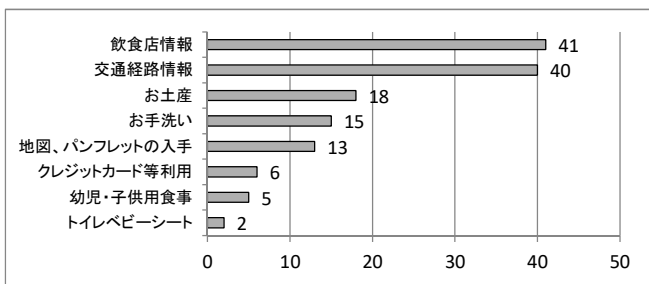
選択肢	回答数	比率
木工製品	62	38.3%
薪ストーブ	36	22.2%
池田杉材住宅	26	16.0%
しめ縄	22	13.6%
チェーンソーアート	16	9.9%
合計(無回答除く)	162	100.0%
合計	450	-



問2-③ 池田町に来て、不便に感じることや、施設に問題はありますか？3つまで選べ。

「飲食店情報」が29.3%、交通経路情報が28.6%で、2件合計57.9%となり全体の過半数を占める結果となっている。「食の文化祭」に来場する上で、基本的な情報が不足していることとなる。

選択肢	回答数	比率
飲食店情報	41	29.3%
交通経路情報	40	28.6%
お土産	18	12.9%
お手洗い	15	10.7%
地図、パンフレットの入手	13	9.3%
クレジットカード等利用	6	4.3%
幼児・子供用食事	5	3.6%
トイレベビーシート	2	1.4%
合計(無回答除く)	140	100.0%
合計	450	-

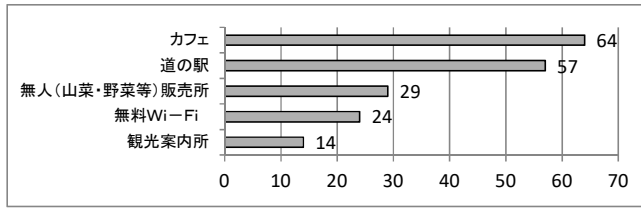


記述回答：しんぼのトイレ、遠い、コンビニがない、スマホで場所(地図)を見つけれない

問2-④ 池田町にもっとあったら便利だと思う、観光施設等はあるか？3つまで選べ。

「カフェ」が34.0%、「道の駅」が30.3%と続いた。食の文化祭で、カフェ業態の出店もあったものの、来場者のカフェに対するニーズを満たせていなかった可能性が考えられる。

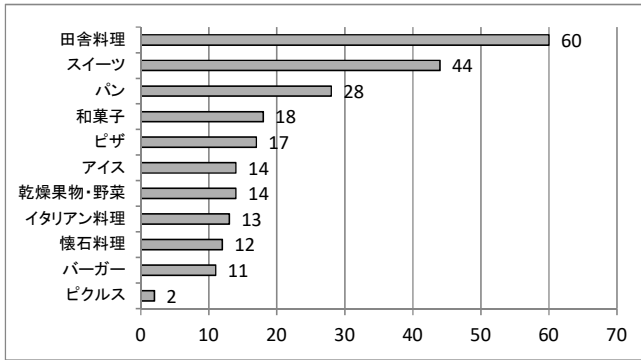
選択肢	回答数	比率
カフェ	64	34.0%
道の駅	57	30.3%
無人(山菜・野菜等)販売所	29	15.4%
無料Wi-Fi	24	12.8%
観光案内所	14	7.4%
合計(無回答除く)	188	100.0%
合計	450	-



問2-⑤ 池田町にもっとあったら良いと思う、地元食材を使った食べ物はありますか？3つまで選べ。

「田舎料理」が25.8%、「スイーツ」が18.9%と続く結果となっている。

選択肢	回答数	比率
田舎料理	60	25.8%
スイーツ	44	18.9%
パン	28	12.0%
和菓子	18	7.7%
ピザ	17	7.3%
乾燥果物・野菜	14	6.0%
アイス	14	6.0%
イタリアン料理	13	5.6%
懐石料理	12	5.2%
バーガー	11	4.7%
ピクルス	2	0.9%
合計(無回答除く)	233	100.0%
合計	450	-

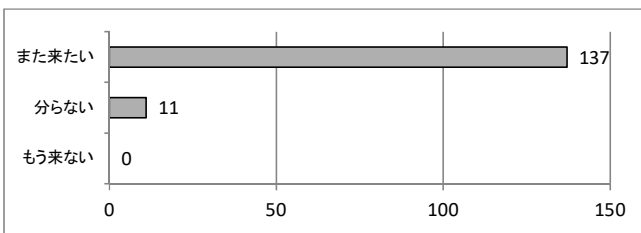


記述回答: すこ、地元食材のランチ、ターゲットをどこにしぼるかによる

問2-⑥ 池田町にまた来たいと思うか？

全体の92.6%が「また来たい」と回答し、池田町および食の文化祭に魅力を感じていることがわかる。

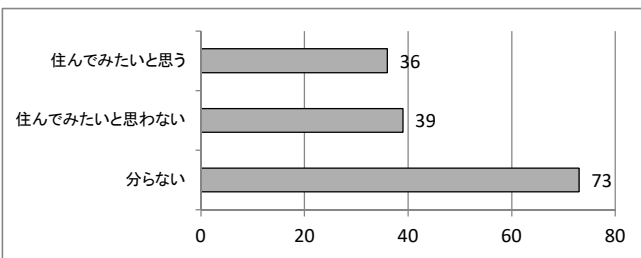
選択肢	回答数	比率
また来たい	137	92.6%
分らない	11	7.4%
もう来ない	0	0.0%
合計(無回答除く)	148	100.0%
合計	150	-



問2-⑦ 池田町に住んでみたいと思うか？

移住意向に対しては、問2-⑥の再来訪移行とは異なり、「住んでみたい」が24.3%という結果となっている。「分らない」が49.3%と約半数を占めることから、移住に関して考えている人が多くないことが推測される。

選択肢	回答数	比率
住んでみたいと思う	36	24.3%
住んでみたいと思わない	39	26.4%
分らない	73	49.3%
合計(無回答除く)	148	100.0%
合計	150	-



問2-⑧ その他の意見・要望等

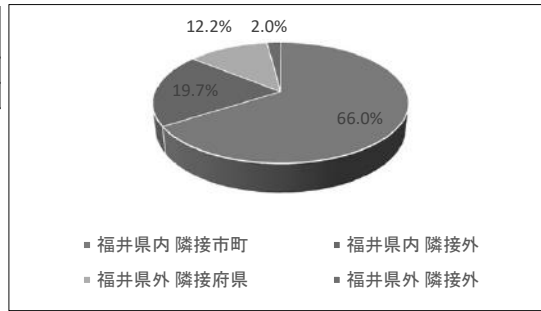
- 町も新体制で望んでほしい！
- 食の文化祭 寒い日になりました
- 駅などにポスターなどで、広告したらどうですか。
- スイーツのパッケージなどを今風に可愛くした方がもっとステキになると思う
- 池田町に仕事先があるという縁で来た
- 坂道
- パッケージをかわいい、おしゃれなものに、広告。水まんじゅう◎、スコーンが◎
- おいしいお米をもっとPRして下さい。
- イベントをもっといろいろ開催してほしい。
- イベントバナーがみつけにくい。今日の食文の買い物の場所がわからない。役場のネットが見にくい。地図が見にくい。何を売ってるかわかるようになっていなかった。
- 仕事場が少ない
- アピール方法をもっと考えると良い。特産品など知らない。木工品などもっと宣伝したらどうか。

(2) 第二部 ～地域別・年代別・クロス分析～

① 地域別分析

隣接市町よりの割合が66.0%と約2/3を占めている。高速道路でのアクセスが出来ない等の影響もあり、また隣接市町からでも池田町まで、約1時間かかることもあり、隣接外からの来訪者は多くない。

福井県内		福井県外		合計
隣接市町	隣接外	隣接府県	隣接外	
97	29	18	3	147
66.0%	19.7%	12.2%	2.0%	100.0%



② 年代別分析

各年代の特徴をおおまかに捉えるべく、各質問で最多回答選択肢を並べている。

世代を2つに大分すると、下記のような特徴を考察することができる。

20-30歳代来訪者は、「3人親子」で「遊び」目的、「交通経路情報」に不便さを感じ、「カフェ」「パン・スイーツ」を好む。一方、50-70歳代来訪者は、「夫婦2人」で「イベント」目的、「飲食店情報」に不便さを感じ、「田舎料理」を好む。

	何人で	どなたと	縁	目的	食べ物	商品・製品	不便・問題	観光施設	地元食材
20歳未満	3人	親子	特に無し	食事	蕎麦 お米	木工製品 チェーンソー・アート	交通情報 お土産	カフェ	パン
20歳代	3人	友人	特に無し	遊び	蕎麦	木工製品	交通情報	カフェ	スイーツ
30歳代	3人	親子	特に無し	遊び	蕎麦	木工製品	交通情報	道の駅	スイーツ パン
40歳代	3人	親子	特に無し	遊び	蕎麦	木工製品	飲食店情報	道の駅	田舎料理
50歳代	2人	夫婦	特に無し	食事	蕎麦	木工製品 しめ縄	飲食店情報	カフェ	田舎料理
60歳代	2人	夫婦	特に無し 友人がいる	イベント	蕎麦	木工製品	交通情報	カフェ	田舎料理
70歳以上	2人	夫婦	友人がいる	イベント	蕎麦	木工製品	飲食店情報	道の駅	田舎料理

③ クロス分析

(a) 不便・課題と感ずる点の分析

(i) 福井県内、県外からの観光客の差異分析

「交通経路情報」の課題は、観光客の属性(どこから来たか?)によって回答の差異が出るのではと検証したが福井県内の観光客28.6%、福井県外33.3%と4.7ポイントの差があるものの、大きな差異は無いと考えられる。

選択項目	福井県内		福井県外	
	実数	構成比	実数	構成比
交通経路情報	40	28.6%	6	33.3%
地図、パンフレットの入手	13	9.3%	0	0.0%
飲食店情報	41	29.3%	7	38.9%
お手洗い	15	10.7%	2	11.1%
トイレベビーシート	2	1.4%	0	0.0%
幼児・子供用食事	5	3.6%	0	0.0%
お土産	18	12.9%	3	16.7%
クレジットカード等利用	6	4.3%	0	0.0%
回答総数	140	100.0%	18	100.0%

(ii) 福井県内(池田町と隣接市町)での差異分析

池田町への流入経路に相違がある3グループ(福井市、越前市と鯖江市、大野市)間で大きな差異は見られない。

選択項目	隣接市町				その他の市町
	福井市	越前市	鯖江市	大野市	
交通経路情報	24.5%	26.9%	22.2%	0.0%	40.0%
地図、パンフレットの入手	6.1%	15.4%	11.1%	0.0%	12.0%
飲食店情報	30.6%	26.9%	27.8%	100.0%	24.0%
お手洗い	10.2%	15.4%	5.6%	0.0%	12.0%
トイレベビーシート	2.0%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%
幼児・子供用食事	4.1%	3.8%	5.6%	0.0%	4.0%
お土産	20.4%	0.0%	22.2%	0.0%	4.0%
クレジットカード等利用	2.0%	7.7%	5.6%	0.0%	4.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
回答者数	49	26	18	1	46

(b) 食べ物分析

問2-①(池田町の食べ物では何に関心、興味があるか?)に対する回答の男女別内訳は以下の通りとなる。
ここでは、特徴的な結果である、蕎麦・餅・きびだんごについて、クロス分析を行った。

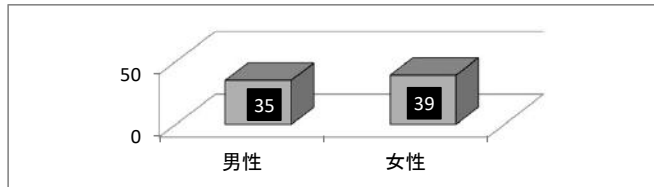
	蕎麦	餅	鮎	イワナ	ジビエ	お米	野菜	山菜	漬物
男性	35	10	7	4	9	13	4	16	1
女性	39	18	2	6	6	16	14	15	3
合計	74	28	9	10	15	29	18	31	4

	きびだんご	郷土料理	池田のサイダー	かき餅	米粉菓子	米粉パン	豆腐・油揚げ	味噌	豆乳ヨーグルト	合計
男性	1	6	5	0	2	3	1	2	2	121
女性	15	9	2	3	5	9	5	7	4	178
合計	16	15	7	3	7	12	6	9	6	299

(i) 男女別「蕎麦」回答数

「蕎麦」と回答した人の性別は、男性47.3%、女性52.7%と女性が若干多いものの性別で大差はないと言える。
つまり、蕎麦は、男女・全世代共通で魅力のある食べ物ということになる。

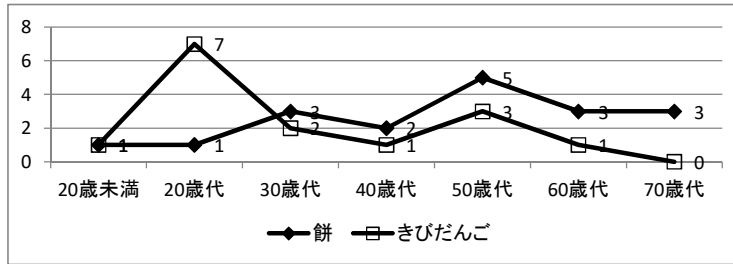
蕎麦	回答数	比率
男性	35	23.3%
女性	39	26.0%
合計	74	49.3%



(ii) 女性・年代別「餅」「きびだんご」回答数

問2-⑤(池田町にもっとあったら良いと思う、地元食材を使った食べ物)への回答で、20・30代が「スイーツ」と回答していることから、「食べ物」の中で女性回答数が男性よりも相対的に多かった「餅」「きびだんご」に絞って分析した。
結果は、同じ和菓子分類であると想定される中、「きびだんご」は圧倒的に20代女性の支持を集め、「餅」は50代以上と分かれるものとなった。これは、新商品開発のヒントになると考えられる。

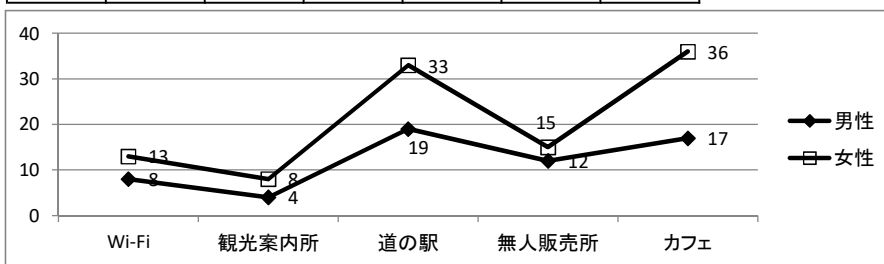
女性	餅	きびだんご
20歳未満	1	1
20歳代	1	7
30歳代	3	2
40歳代	2	1
50歳代	5	3
60歳代	3	1
70歳代	3	0
合計	18	15
男性	10	1



(c) 観光施設分析

問2-④(池田町にもっとあったら便利だと思う、観光施設等はあるか?)に対する回答の男女別内訳は以下の通りとなる。
まず、当該設問に対する男女別の回答数は、男性が60名、女性が105名と、女性が圧倒的に多い。
その中で、女性回答数は「カフェ」が36名、「道の駅」33名と続く。

	Wi-Fi	観光案内所	道の駅	無人販売所	カフェ	合計
男性	8	4	19	12	17	60
女性	13	8	33	15	36	105
合計	21	12	52	27	53	165



(i) 女性・年代別「道の駅」「カフェ」回答数

問2-④(池田町にもっとあったら便利だと思う、観光施設等はあるか?)設問に対して、女性回答数は、「道の駅」33名、「カフェ」36名と近似値だが、年代別に分析すると「カフェ」は20・30歳代、「道の駅」は40・70歳代と分かれる結果となっている。

女性	道の駅	カフェ
20歳未満	2	3
20歳代	5	10
30歳代	3	6
40歳代	4	2
50歳代	8	7
60歳代	3	4
70歳代	7	2
合計	32	34
男性	19	17

